

萬鉄五郎記念美術館企画展

大川美術館コレクション+Plus 20世紀アートセレクション

マリー・ローランサンやピカソなど、パリを中心に活躍した画家か ら、アンディ・ウォーホルらのアメリカ美術やポップアートまで。大 川美術館(群馬県)の名品コレクションの約80点を中心に、萬鉄五郎記 念美術館の所蔵品をプラスして、20世紀に花開いた多彩なアート表現 の数々を紹介します。

- **■会期** 9月20日(±)~11月9日(日)
- ※毎週月曜日休館(月曜日が祝日の場合は、その翌日が休館)
- ■時間 午前8時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ■入館料 一般700円、高校生·学生400円、小中学生300円

❖ 関連イベント ❖

講演会「大川美術館 コレクションと20世紀アート」

- ■期日 10月5日(日)
- ■時間 午後2時~3時30分
- ■会場 東和総合支所
- ■講師 公益財団法人大川美 術館館長の田中淳さん
- ■定員 50人(当日先着順)

❖ 同時開催 ❖

iwateコンテンポラリーアート vol.14-3 熊谷行子展

- ■会期 9月20日(±)~11月 9日(日)
- ■時間 午前9時~午後4時 30分
- ■会場 ハ丁土蔵ギャラリー
- ■入館料 無料



▲マリー・ローランサン『女性の半身像』 1930年代 油彩・カンヴァス(公益財団法 人大川美術館 所蔵)

【問い合わせ】

萬鉄五郎記念美術館(否42-4402)



11月1日から第12弾を実施 「PayPay」ポイント付与キャンペーン



市では、市内対象店舗でキャッシュレス決 済サービス「PavPav |で決済した場合に、決済 金額の最大20添のPavPavポイントを後日付与 するキャンペーンを実施します。

- **■期間** 11月1日(±)[午前○時]~30日(日) 「午後11時59分]
- ■付与上限額 1決済当たり2千ポイント ※1アカウントにつき合計5千ポイント
- ■対象店舗 市内PayPay加盟店舗のうち、市 とPayPayが対象店舗として指定した店舗 「ただし▶コンビニエンスストア▶温泉宿 泊施設(一部除く)▶保険適用医療機関一な どは対象外】
- ※市内対象店舗の一覧は、11月1日までに市 ホームページに掲載予定です
- ■PayPayポイント付与 ポイントは、支払日 の翌日から30日後に付与されます

■お客様相談窓口

- ∘ PayPayお客様相談窓口…毎日、24時間、☎ 0120-990-634
- *問い合わせフォームもご利用く ださい
- 。ソフトバンク花巻桜台店(予約制)…午前10 時~午後7時、☎21-3231

新たに本キャンペーンの登録を希望する事 業者は、10月6日(月)までにPayPay(株)の審査を 終え、市が対象店舗と認定することで、11月 1日(土)から取り扱いが可能となります。

- ■相談窓口 PayPay㈱新規加盟店希望窓口 「月~金曜日(祝日を除く)、午前10時~午 後7時(☎0120-957-640)]
- *問い合わせフォームもご利用く ださい

【問い合わせ】本館商工労政課(☎41-3539)

9月15日は「老人の日」

老人クラブの活動を紹介します

9月15日~21日の1週間は「老人週間」と定められて います。地域で元気に活躍する市内老人クラブの活動 を紹介します。

【問い合わせ】 ▷新館長寿福祉課(☎41-3576) ▷花巻市老 人クラス連合会(花巻支部☎23-5280、大迫支部☎48-2081、石鳥谷支部☎26-5223、東和支部☎42-3868)



老人クラブってどんなところ? ••

老人クラブは、身近な地域を拠点に活動し ている団体で、おおむね60歳以上の人であれ ばどなたでも参加できます。

趣味の集まりから、スポーツを通した健康

づくり・介護予防、清掃美化活動など、多種 多様な活動を行っています。

4月1日現在、市内では83の団体、2,667人 の会員が元気に楽しく活動しています。

市内老人クラブの活動の一部を紹介します

花巻支部



昨年10月に「第15回花巻市老人クラブ連合 会クラブ大会」を開催しました。花巻市老人 クラブ連合会に所属する各クラブが活動発表 を行い、交流を深めました。

石鳥谷支部



6月に石鳥谷体育館で「いきいきスポーツ 大会」を開催しました。石鳥谷支部に所属す る各クラブ対抗で豆拾いリレーなどの四つの 競技を行い、交流を深めました。



5月に大迫小学校の1・2年生を対象とし た「サツマイモの苗植え」を開催しました。会 員は、児童たちに畝づくりや苗の植え方など を教えながら一緒に作業しました。

東和支部



3世代交流を目的に、8月に地域の子ども たちと毒沢川の生物調査を行いました。会員 は子どもたちとともに水牛牛物の調査を行 い、生態系保全の大切さを伝えました。

6 2025(R7).9.15 広報はなまき No.454 4